

**Contact:** 広報担当(マーケティングチーム)  
Tel: 03-5411-3790  
E-mail: Tokyo-RIJ@russell.com

ラッセル・インベストメント株式会社  
東京都港区赤坂 7-3-37 プラス・カナダ  
www.russell.com

**発信日:** 2010年1月27日

## ラッセルが日本債券マザーファンドの 外部委託先運用会社を変更

ラッセル・インベストメント株式会社(本社:東京都港区)は、同社が設定・運用管理しているファミリーファンド方式によるマルチ・マネージャー・ファンドの「ラッセル 日本債券マザーファンド」(「ラッセル グローバル・バランス・ファンド(安定型/安定・成長型/成長型)」【愛称:ライフポイント】の主要投資対象)において、2010年1月27日付で運用会社構成を一部変更し、これまで金利戦略型を担当しておりましたビー・エヌ・ピー・パリバアセットマネジメント株式会社、クレジット/セクター戦略型を担当しておりました住信アセットマネジメント株式会社および収益源泉拡張型を担当しておりましたピムコ ジャパン リミテッドへの運用委託を終了するとともに、目標配分割合を変更いたしました(次ページ参照)。

今回の運用会社の変更は、従来の金利戦略型、クレジット/セクター戦略型、収益源泉拡張型といったスペシャリスト型の3社と広範囲型の2社の組み合わせから、より機動的に戦略を横断することが可能である広範囲型の2社<sup>※1</sup>に運用会社構成を集約することで、より安定した運用成果を上げることを目指すものです。同時に、各運用会社への目標配分割合を変更することで、ファンド全体のバランスを保ちます。

広範囲型を担当しております株式会社りそな銀行(以下「りそな銀行」)およびDIAMアセットマネジメント株式会社(以下「DIAM」)は幅広い分野で優れた能力を有すると判断している運用会社であり、ラッセル・インベストメントグループの運用会社調査チームはその総合力を高く評価しています。両社は、従来どおり、金利戦略とクレジット/セクター戦略の両方を超過収益の源泉とする広範囲型の運用を継続します。両社ともデュレーション(金利感応度)戦略やイールドカーブ(利回り曲線)戦略などの金利戦略においては、グローバルな視野と高い調査能力を活かし、マクロ経済から需給関係まで精緻な分析により投資を行ないます。また、クレジット/セクター戦略においては、DIAMが徹底した企業の信用調査に基づくボトムアップ的な観点からの個別銘柄選択を得意とする一方、りそな銀行はマクロ経済分析に基づくトップダウン的な観点からの債券種別選択からも超過収益の獲得を目指すなど、2社の相互補完性が期待できます。今回の変更により、当ファンドのリスクをより一層抑えながら安定的な超過収益の獲得を目指します。

ラッセル・インベストメントは、継続的な運用会社調査の一環として年間約8,000の運用プロダクト<sup>※2</sup>をモニターしています。その中から約210のプロダクトが、現在当グループのマルチ・マネージャー・ファンドに採用されています。こうした運用委託先を組み合わせることにより、リスク分散されたポートフォリオを構築します。今回の変更は、ラッセルによる継続的な運用会社調査および資本市場調査の結果に基づくもので、マルチ・マネージャー・ファンドならではの特徴の一つです。ラッセルのマルチ・マネージャー・ファンドでは、今後も市場や状況の変化等に応じて、適切な運用会社構成の変更を実施してまいります。

※1 ラッセル・インベストメント内の関連会社を除く外部委託先運用会社の数を指しています。

※2 2009年6月末現在。個々の運用会社の運用手法を指し、運用会社によっては複数所有しているところもあります。

### ＜「ラッセル 日本債券マザーファンド」の外部委託先運用会社構成＞

運用会社	運用スタイル	目標配分割合
DIAM アセットマネジメント	広範囲型	50%
りそな銀行	広範囲型	50%

#### ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントは、現在世界 46 カ国において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約 16 兆円\*となっています。グループの創立は 1936 年。米国ワシントン州タコマを本拠地とし、米国最大手の個人生命保険会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランスの子会社です。

日本においては 1986 年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは [www.russell.com/jpii](http://www.russell.com/jpii) をご覧ください。

(\* 2009 年 12 月末現在)

Copyright ©2010. Russell Investments. All rights reserved. ラッセル・インベストメントは世界中の拠点を通じて事業を展開しています。「ラッセル・インベストメント グループ」、「ラッセル・インベストメント」および「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニーおよびその子会社等の総称です。当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。当資料は、一般的な情報の提供を目的としており、特定の運用商品の推奨等の投資勧誘を目的としたものではありません。当社による事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮下さい。